

第3学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識・技能〕 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考・判断・表現〕 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔主体的に学習に取り組む態度〕
教科書	国語3（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	新・基礎の学習 学習漢字ノート すらすら基本文法 国語便覧

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、単元、技能等） ※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や内容 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や内容 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分の考えと比較しながら考えましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫して丁寧にまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか整理し、自分の考えをまとめておきましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・ワークやiプリ等を活用し、復習をすることで、学校で学んだことを定着させましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	〔聞く〕評価しながら聞く（話・聞） 学びて時に之を習ふ（読）	・話を聞くときは、内容や表現のしかたを評価しながら聞く。 ・歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。
5	情報整理のレッスン 情報の信頼性（情） 文章の種類を選んで書こう（書） 作られた「物語」を超えて（読）	・情報の信頼性の確かめ方を理解する。 ・内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。 ・文章における具体と抽象の関係を捉える。 ・論説の特性を踏まえ、文章の構成や論理の展開を評価する。
6	思考のレッスン1 具体化と抽象化（情） 説得力のある構成を考えよう（話・聞） リオの伝説のスピーチ（話・聞） 実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう（情） 高瀬舟（読）	・具体と抽象の関係の理解を深める。 ・相手を説得できるように、話の構成を工夫する。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価する。
7	俳句の可能性/俳句を味わう（読） 読書を楽しむ/「私の一冊」を探しにいこう（読書）	・俳句の特徴について、理解を深める。 ・内容や表現のしかたに着目し、俳句を評価しながら読み深める。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりする。
9	挨拶 -原爆の写真によせて（読） 故郷（読） 聞き上手になろう（話・聞） 〔推敲〕論理の展開を整える（書）	・比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。 ・小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 ・相手の話の展開を予測しながら聞き、質問で話を引き出す。 ・論理の展開や内容に関わる点に着目して、文章を整える。
10	人口知能の未来（読） 人間と人工知能と創造性（読） 多角的に分析して書こう（書） 〔議論〕話し合いを効果的に進める（話・聞）	・文章を批判的に読み、自分の意見をもつ。 ・表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。 ・どのような話題について、どのような順序で話し合えばよいかを考え、効果的な話し合いの進め方について理解する。
11	合意形成に向けて話し合おう（話・聞） 音読を楽しもう 初恋（読） 君待つと -万葉・古今・新古今（読） 夏草 -「おくのほそ道」から（読）	・立場や考え方の違いを認め、互いの考えを生かしながら、合意形成に向けて話し合う。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しみ、表現の効果などについて考える。
12	誰かの代わりに（読） 情報を読み取って文章を書こう（書） 本は世界への扉（読書）	・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 ・論理展開などについて推敲したり助言したりして、よりよい文章にする。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりする。
1	温かいスープ（読） わたしを束ねないで（読）	・国際社会における人と人との関係について、考えを深める。 ・詩の中の言葉や表現から作品のもつメッセージを捉える。
2	三年間の歩みを振り返ろう（話・聞）（書）	・3年間の学びを振り返り、テーマを決める。
3		・場の状況によって言葉を選び、自分の考えをわかりやすく伝える。

※書写は、国語科の授業の中で年間10時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。